

人が輝き、感動あふれる美しい都市<sup>みや</sup>すいた



# 吹田市第3次総合計画

2006 - 2020

概要版

吹田市

## 「人が輝き、感動あふれる美しい都市 すいた」 をめざして



本市は、立地条件の良さなどから交通の要衝として古くから栄え、人・物・文化・情報が交差するまちとして発展してきました。そして先人の知恵やたゆまぬ努力によって、時代の変化に応じた基盤整備と市民福祉を向上させるためのまちづくりが進められてきました。その成果が、今日の吹田のまちを地域ごとに異なった特色を持つまちとして、豊かにかたちづくっています。今では、住むための住宅都市から、住み働くことができる複合型の都市へと変わり、北大阪地域の中で大きな役割を果たしています。また、充実した文化・学術・研究環境やきめ細かな生活関連施設の配置、暮らしを支える福祉施策や教育・文化施策などは、他市に誇る大きな有形、無形の財産として市民生活を支えており、福祉分野での行政サービス評価では、高い評価を受けるまでになっています。

このたび策定した第3次総合計画は、今後のまちづくりの指針となるものであり、先人から引き継いだ素晴らしい財産を、今を生きる私たちが更に磨きをかけ伸ばしながら、安心して暮らし、働き、学び続けることができるまちとして、次世代に引き継いでいくための計画です。

少子・高齢社会の到来、地球規模での環境問題など多くの課題を抱える中で、この

総合計画では、平成18年度から平成32年度までの15年間を展望し、本市の将来像を新たに「人が輝き、感動あふれる美しい都市 すいた」と定め、緑や水辺、歴史的まちなみ、商店街や建物、歩道などがうおいや落ち着きをみせる中で、都市文化が育ち、35万人の市民が集い、交流し、豊かなコミュニティの下で安心して暮らしている姿を想定しています。

また、今回の総合計画では、初めて地域別の計画を策定いたしました。全市的な取組とともに、身近な生活の場である地域からまちづくりに取り組みながら、地域の特性を生かした住み続けることができるまちの実現をめざすものです。

時代は地方分権へと大きく転換が図られる中、この総合計画を市民の皆様方と共有し、様々なまちづくりの場面で、市民、事業者、行政が各々の役割を分かち合う協働のまちづくりを推し進め、21世紀の新たなまちの創造に取り組んで参りたいと考えております。

この計画の策定にあたりまして、ご尽力をいただきました市議会はじめ総合計画審議会の方々、そして貴重なご意見をいただきました市民の皆様方に対し、心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。

吹田市長 阪口善雄

# 吹田市第3次総合計画 ●概要版● 目次

総合計画とは	1
計画策定の趣旨	1
<b>基本構想</b>	<b>2</b>
計画の構成と期間	2
吹田市の特性	3
吹田市を取り巻く動向と課題	5
吹田市の将来像	7
人口	8
都市空間	8
<b>基本計画 ー部門別計画ー</b>	<b>9</b>
すべての人がいきいき輝くまちづくり	9
市民自治が育む自立のまちづくり	11
健康で安心して暮らせるまちづくり	13
個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	18
環境を守り育てるまちづくり	23
安全で魅力的なまちづくり	25
活力あふれにぎわいのあるまちづくり	29
<b>基本計画 ー地域別計画ー</b>	<b>31</b>
計画の性格	31
計画の構成	31
地域別計画の推進のために	31
すべての地域に共通する主な取組	33
J R以南地域	36
片山・岸部地域	40
豊津・江坂・南吹田地域	44
千里山・佐井寺地域	48
山田・千里丘地域	52
千里ニュータウン・万博・阪大地域(その1)	55
千里ニュータウン・万博・阪大地域(その2)	58
<b>基本計画 ー基本計画推進のためにー</b>	<b>61</b>

## 総合計画とは

市のこれからのあるべき姿を描いたもので、総合的・計画的にまちづくりを進めていくための基本的な方針です。「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」から成っています。

## 計画策定の趣旨

本市は、昭和54年（1979年）に吹田市総合計画基本構想を策定して以来、二次にわたる総合計画を策定し、「すこやかで心ふれあう文化のまち」を市の将来像として総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

それらの取組の中で、福祉施設や社会教育施設、体育施設、コミュニティ施設などの整備が進み、子どもや高齢者を支える福祉の充実などとともに、市民の生活の場からの環境保全への取組など地域でのさまざまな自主的な活動が広がりをみせてきました。

しかし、この間に本市の状況は大きく変化しました。都市基盤が整った千里ニュータウンでは急激な人口の減少と高齢化が進む一方、商業・業務機能が集積している地域においては、

卸売業での年間販売額の大きな落ち込みなどがみられ、まちの再生が課題となっています。また、市民意識調査においては、環境や防災に対する関心は高く、安全で安心できるまちづくりへの対応が求められており、地域ごとの特性を生かしながら、いきいきとした市民生活を将来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進めることが必要です。

以上の背景を踏まえ、吹田市第2次総合計画の目標年次を迎えるにあたり、市民、事業者、行政の協働の下で、これまでに積み重ねてきた成果を受け継ぎながら、新たな時代の諸課題に対応するために、吹田市第3次総合計画を策定するものです。